

5歳未満児死亡率 (2019年)

赤ちゃんが1,000人生まれたときにそのうち何人が5歳までに命を失うかを示す値

- 101人以上
- 76~100人
- 51~75人
- 26~50人
- 25人以下
- データなし

〈出典:世界子供白書2021〉

ユニセフが活動している国と地域

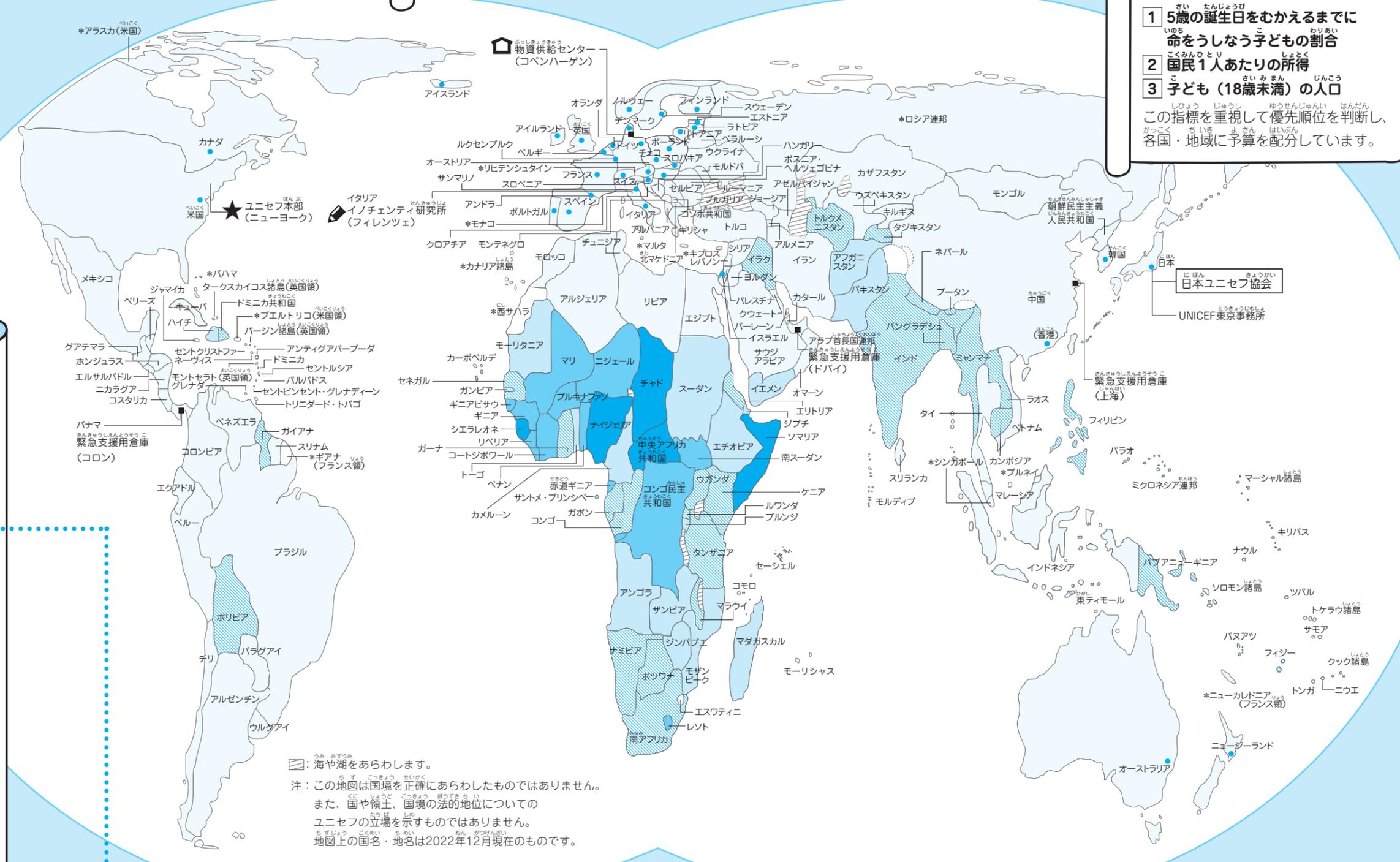
例: 国名(無印) ユニセフが子どものための支援活動をしている国と地域

国名(●) ユニセフ協会が活動している国と地域

国名(*) ユニセフとユニセフ協会が特に活動していない国と地域

※世界33の先進国・地域には、ユニセフ本部との協定により、各国において唯一、ユニセフを民間で代表するユニセフ協会がおかれています。(2022年12月現在)

世界の5歳未満児死亡率



ユニセフは、最も支援を必要としている子どもたちに支援が届けられるように、

- 5歳の誕生日をむかえるまでに命をうしなう子どもの割合
- 国民1人あたりの所得
- 子ども(18歳未満)の人口

この指標を重視して優先順位を判断し、各国・地域に予算を配分しています。

ユニセフの歴史

- 1946-第2次世界大戦(1939~1945)の後、戦争で被害を受けた子どもを助けるために国連の総会でユニセフ(United Nations International Children's Emergency Fund: 国際連合国際児童緊急基金)が生まれ、戦災国で支援活動が始まる
- 1949-日本での支援活動が始まる(粉ミルクの支給など)
- 1953-国際連合児童基金(United Nations Children's Fund)と名を改め、活動の中心を開発途上国の子どもの長期的な支援に広げる
- 1955-財団法人日本ユニセフ協会ができる
- 1959-国連で「児童の権利宣言」が採択される
- 1964-日本への支援活動が終わる
- 1965-ノーベル平和賞を受ける
- 1979-国際児童年、ユニセフへの理解と協力が広がる
- 1989-国連で「子どもの権利条約」が採択される
- 1990-「子どものための世界サミット」が開かれる
- 1994-「子どもの権利条約」を日本が批准する
- 2002-「国連子ども特別総会」が開かれる
- 2011-公益財団法人日本ユニセフ協会となる
- 2019-「子どもの権利条約」採択30周年を迎える
- 2021-ユニセフ創設75周年を迎える

海や湖をあらわします。

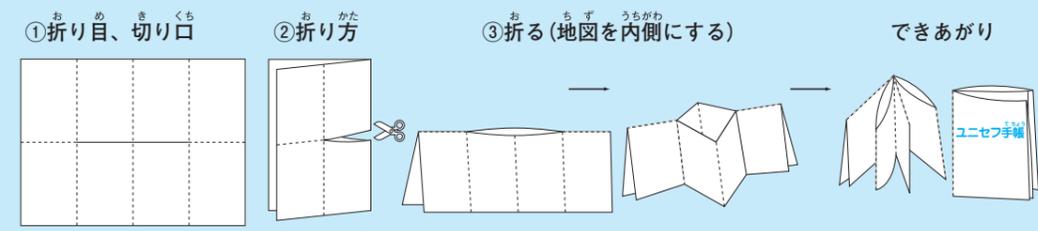
注: この地図は国境を正確にあらわしたものではありません。また、国や領土、国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではありません。地図上の国名・地名は2022年12月現在のものです。

日本もユニセフに助けてもらっていたんだよ

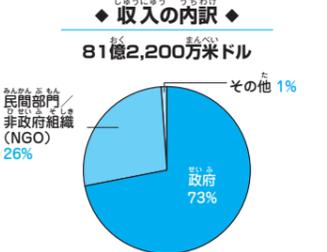
日本も、75年以上前に第2次世界大戦が終わったあと、ユニセフから、給食用の粉ミルクや、服をつくるための綿、葉などの支援をうけていました。ユニセフの支援は1949年から1964年(東京オリンピックの年)まで15年間におよび、当時のお金で65億円分にもなりました。また、東日本大震災では、ユニセフのサポートを受けながら、日本ユニセフ協会が支援活動を行いました。



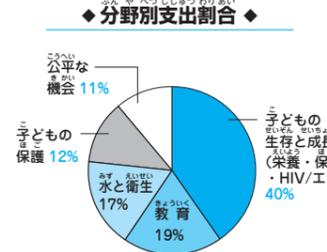
手帳の作り方



Q. ユニセフにはどれくらいのお金が集まっているの?



Q. そのお金はどんなことに使われているの?



出典: ユニセフ活動の成果2021 (四捨五入のため、合計が100%にならないことがあります)

